

平成30年度 社会福祉法人ゆたか会 事業報告

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

平成30年度 理事会・評議員会 議事審議事項

(1)理事会

開催年月日	定数 (理事6人) (監事2人) 出席者数	議 事	決 議 (可否)	欠席者 氏名
平成30年 5月29日	理事 6人 監事 2人	(第1回) 1. 平成29年度事業報告(案)の承認について (業務執行理事による職務執行状況報告) 2. 平成29年度決算報告(案)の承認について 3. 清湖園 共用部空調設備の更新について 4. 各種規程の変更について 「就業規則」「運営規程」 5. 定時評議員会の招集及び議案概要の承認について (報告事項) ・平成30年度監事監査指摘事項改善報告について ・さわの風における事故発生報告について	可 可 可 可 可	なし
平成30年 9月28日	理事 5人 監事 2人	(第2回) 1. 社会福祉法人ゆたか会 中期目標・中期修繕計画(案)の承認について 2. 就労定着支援事業湖西ゆめ企画 事業計画(案)及び事業予算(案) 並びに運営規程(案)の承認について 3. 各種規程の変更について 「経理規程」「給与規程」「さわの風運営規程」 (報告事項) ・京都銀行「当座貸越取引」に関する契約について ・ソニー生命保険積立金の資金運用について ・清湖園 共用部空調「マネージド空調サービス契約」の締結について ・指導監査結果報告 ・評議員1名退任による候補者案の検討について ・その他	可 可 可	理事 池田 敦子
平成30年 12月10日	理事 6人 監事 2人	(第3回) 1. 平成30年度補正予算(案)の承認について 2. 各種規程の変更について 「給与規程」「就業規則」「年次有給休暇積立制度」 (報告事項) ・清風荘デイサービス事業について ・その他	可 可	
平成31年 3月26日	理事 5人 監事 2人	(第4回) 1. 平成30年度補正予算(案)の承認について 2. 2019年度事業計画(案)の承認について 3. 2019年度予算(案)の承認について 4. 各種規程の変更について 「経理規程」「就業規則」「給与規程」「役割・等級規程」 5. 清風荘 照明設備改修工事(LED化)について (報告事項) ・部門別事業活動の状況等について ・その他	可 可 可 可 可 可	理事 池田 敦子

(2)評議員会

開催年月日	定数 (7人) 出席者数	議 事	決 議 (可否)	欠席者 氏名
平成30年 6月21日	評議員 6人	(定時評議員会) 1. 平成29年度決算報告(案)の承認について (報告事項) ・平成29年度事業報告について ・部門別事業活動の状況等について ・その他	可	評議員 上森 俊明

(3)評議員選任・解任委員会

開催年月日	定数 (5人) 出席者数	議 事	決 議 (可否)	欠席者 氏名
平成30年 11月14日	委員 5人	1. 評議員1名退任に伴う評議員の選任について	可	

平成30年度 経営状況

(1) 法人単位 資金収支・事業活動の状況

別紙 決算報告(要約報告版)参照

(2) 事業運営の概況

・事業総数	32 事業		
・職員総数 (3/31現在)	337 名 (前年比:101.5%)	(採用者 41名 退職者 34名)	常勤17名、非常勤24名 常勤15名、非常勤19名)
・利用者総数	(1日当りのサービス提供延人数(概算))	(年間延 推計)	
高齢者	254 名 (前年比:87.6%)	79,139 名 (前年比:89.2%)	
障害者	184 名 (前年比:112.2%)	43,137 名 (前年比:125.8%)	
・事業活動収入計	1,491,759,136 円 (前年比:100.4%)		

拠点別の事業種別、定員等は 別紙 組織図 参照

(3) 借入金の状況

(単位:円)

	法人全体	本部	さわの風	清湖園	ほろん
借入金額	380,000,000	30,000,000	200,000,000	80,000,000	70,000,000
30年度元金償還額	36,719,000	20,837,000	9,048,000	3,990,000	2,844,000
30年度借入金額	0				
30年度末借入残高	246,145,000	0	156,832,000	27,930,000	61,383,000

取組事項		実施状況	
法人本部	1.法人運営関係 運営委員会等	<p>【運営委員会・GM会議】(主な協議事項)</p> <p>4月 決算理事会の開催、職員全体会議の開催、清風荘浴室改修プロジェクト</p> <p>5月 アシミレーションの実施、職員相談窓口の設置、目標管理活動、特殊建物定期報告</p> <p>6月 ホームページの更新、夏期賞与の支給</p> <p>7月 各拠点中期計画、作業療法士体制・人事異動について、採用育成研究会、非常時連絡体制</p> <p>8月 よろず相談窓口担当者、給与規程・経理規程の変更、介護現場ハラスメント</p> <p>9月 服務規律委員会の開催、職員募集チラシの配布、台風被害状況について</p>	<p>10月 評議員選任解任委員会の開催、清湖園空調改修工事、清風荘デイスサービスの休止について、人事考課の実施</p> <p>11月 外国人技能実習生の受入れについて、年次有給休暇積立制度の導入、ストレスチェックの結果、冬期賞与、給与規程の変更</p> <p>12月 人事異動、処遇改善加算給の取り扱い、パートタイム職員の所得制限</p> <p>1月 特別休暇防疫休暇の取り扱い、人事異動</p> <p>2月 役割発揮度評価、期末賞与、給与規程の変更、介護職員初任者・実務者研修の受講者</p> <p>3月 特別調整手当、人事考課結果</p>
	2.要望等解決委員会 (委員長:鎌田智恵子)	<p>・3月29日(金)委員会・研修会を実施。リスクマネジメント委員会との合同で開催。出席者は理事長を始め21名。年度末の開催となり第三者委員の参加なく反省点となった。委員会組織の顧問に法人の顧問弁護士古山先生に就いていただく。</p>	<p>・30年度のゆたか会要望等受付は総件数12。種別は施設入所・分類は職員の対応、利用者の嗜好要望が多かった。未解決1・継続4・解決7。</p> <p>・研修会では、苦情に繋がらないための初期対応の重要性を具体例で学ぶことができた。</p>
	3.リスクマネジメント委員会 (委員長:吉田和浩)	<p>・法人としての研修会を要望等解決委員会と合同で年度末に開催。(講師 古山顧問弁護士)</p> <p>・各拠点内での委員会活動を中心に行った。</p> <p>・主な事故等は運営委員会等で報告と共有を行った</p>	<p>各拠点の委員会開催回数</p> <p>清風荘12回、清湖園12回、やまゆりの里12回、さわの風3回(7ヵ月)</p>
	4.研修委員会 (委員長:伴英治)	<p>・職員の資質向上を目的とし研修の在り方、実施内容・方法を委員会で協議検討した。</p> <p>① アシミレーション(組織内のコミュニケーションを活性化しチーム力向上を目的として)5名の役職異動者と24名のメンバーの参加</p> <p>② 介護職員初任者研修の開催(外部受講者4名・内部受講者5名)期間:6/6~11/28 介護職員実務者研修の受講4名</p>	<p>③ 現任(新任)研修1日(13名)</p> <p>④ 講師養成講座1日29名</p> <p>⑤ 人事考課評価者訓練を各事業所で実施した。</p> <p>⑥ 各施設内(虐待事例、危険予知、感染症、人権)研修を実施した。</p> <p>介護初任者研修事業の継続指定を滋賀県より受ける。(平成31年3月29日指定)</p>
	5.衛生委員会 (委員長:水野賢祐)	<p>・産業医、委員長、各施設の衛生管理者、各施設の職場代表 合計12名の委員で構成。毎月委員会を開催。</p> <p>4月 年度計画、有給休暇の取得状況と計画付与</p> <p>5月 健康診断、やまゆりの里巡視</p> <p>6月 衛生研修【食中毒予防、感染症麻疹について】参加者35名</p> <p>7月 清風荘巡視、健康診断集計結果</p> <p>8月 安全研修【安全運転講習】参加者24名</p>	<p>9月 清湖園巡視、ストレスチェック</p> <p>10月 衛生研修【感染症の予防】参加25名</p> <p>11月 さわの風巡視、ストレスチェック集団分析結果、有給休暇取得状況</p> <p>12月 産業医医療研修【在宅看取り】参加21名 インフルエンザ予防接種</p> <p>1月 感染症対策(次亜塩素酸水)について</p> <p>2月 ほろん巡視</p> <p>3月 有給休暇、働き方改革について</p>
法人事務センター	1.総務係	<p>・規程の制定及び改廃(第1回理事会において就業規則を改定、第2回理事会において経理規程および給与規程を改定、第3回理事会において就業規則および給与規程を改定)</p> <p>・IT資産の管理(PC156台、サーバ12台及びネットワーク機器、ホームページ更新等)</p> <p>・災害対策 地域合同の防災倉庫設置及び災害想定</p>	<p>炊出訓練、避難訓練、救命講習(22名)</p> <p>・各種設備法定点検、日常的修繕作業、除雪作業等</p> <p>・総合防災盤の更新(火災通報設備)、清湖園空調設備更新、次年度以降の大規模設備更新の検討</p> <p>・労働衛生関係:ストレスチェック、雇入れ及び定期健康診断の実施、インフルエンザ予防接種の実施</p>
	2.人事係	<p>・求人関係:HPの積極活用、合同説明会への参加(10回)、インターンシップ説明会への参加(1回)、求人情報広告(8回)、外国人技能実習制度説明会、見学会への参加(4回)ホームページの採用サイトの刷新</p>	<p>・人事労務関係:(採用:常勤17名・非常勤32名、退職:常勤16名・非常勤22名)</p> <p>・目標管理:人事データの体系化を強化し、各管理者および経理との連携強化を図る。</p>
	3.経理係	<p>・情報の公開 法人の計算書類等を法人及び関係機関を利用し公開 各団体の調査等にも積極的に公表を行う</p> <p>・特定社会福祉法人への対応 段階的に引き下げられる特定社会福祉法人への対応として、マニュアル作成や現行規程の見直しを行い内部管理体制の整備に努めた</p>	<p>・修繕積立金の目標設定値の設定 中期修繕計画に基づき今後必要な修繕費総額を算出し、事業継続可能な建物維持管理費の目標値を定めた</p> <p>・法人内資金の集約を検討 今後ますます困難なことが予想される拠点単独での資金繰りを刷新し資金一本化の検討を開始(次期も継続で熟考しその是正を見極める)</p>
	4.フードサービス係	<p>・栄養ケアの充実(看取りケアの食事の確立)</p> <p>・献立・調理の工夫(献立マスタの整理とサイクルメニュー作成のマニュアル化、料理を彩りよく仕上げるための調理の標準化、リクエストメニューの対応、面前調理、行事食)</p>	<p>・給食費の適正管理(予定実施食数の管理と料理の評価、適切な発注、食材のロスを抑え、無駄な経費を削減)</p> <p>・設備管理と衛生管理の徹底、マニュアルの見直し ・災害対策(550人5日分の非常食の使用、補充の保管のマニュアル化)</p>

取組事項		実施状況	
施設運営	1. 介護給付費	<ul style="list-style-type: none"> ・特養一稼働率 91.2% (前年度 90.6% 0.6P) 理由①入所者の高齢化と重度化に伴い入院・外泊数増加や退所者が 22 名 (前年度 27 名) (平均介護度 4.0) ②職員不足による新規利用者の受け入れがスムーズにできず、空床数 (外泊・入院含む) が 2901 と多くなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所一稼働率 78.4% (前年度 67.5% 10.9P) 理由①新規利用の受け入れと継続的利用の増加、また市内における短期サービス受け入れ施設の利用制限も一因 ・通所一稼働率 48.2% (前年度 61.0% -12.8P) 理由①高齢化に伴い入院や ADL の低下など契約解除や施設入所等②廃止に向けての移行期間
	2. サービスの質 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・法人研修一現任研修短期コース 4 名 ・施設内研修一人権研修・虐待防止研修、認知症研修 20 回 140 名、感染症対策研修 (手洗いの実技・ノロウイルス・食中毒等)、事故防止対策研修・褥瘡対策実技指導研修等を開催 ・介護職員初任者研修 6/6~11/28 1 名 ・外国人実習生受入準備に指導員講習受講 9 名 ・虐待に対する改善計画への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修-外部研修参加実人数 84 名総日数 70 日 管理者 18 回、相談員 6 回、介護支援専門員 8 回、介護職員 18 回、看護師 8 回、事務員 8 回、DS9 回、栄養士 9 回。 ・職場の活性化・業務の効率化を図るため、3S 活動や目標管理活動に取り組んだ。 ・各種委員会活動による支援の強化 (リスクマネジメント、身体拘束、虐待防止、排泄・褥瘡対策、感染症対策、広報、サービス生活上、安全管理)
	3. 要望等解決	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所利用者からの受付件数 1 件 (予約受付時にケアマネ事業所からの問い合わせがなく、希望の居室 	<ul style="list-style-type: none"> が空いていなかった。早めに問い合わせをしてほしいと伝える。
	4. 地域貢献等の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・市ヶ崎区、清湖園、今津病院との共催でふれあい交流会を開催 (子供会、愛隣こども園児親子、職員の子供、利用者との交流) ・子供の居場所づくりフリースペース「ゆったり」を清湖園と合同で毎水曜日に実施 (中 1 小 1、2 名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームヘルパーへの負担軽減に伴うケアハウス利用者のデイサービスにおける特殊浴槽での入浴サービスを 3 月から週 2 回実施 (2 月末まで清風荘入所) ・フリースペースを「命の第九」事務局として貸与
	5. 防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・年間防災訓練計画に基づき、避難訓練 4 回 (夜間想定 2 回)、消火訓練 2 回 (消火器 3 名、消火栓 5 名) 夜間通報訓練 1 回、消防設備点検 2 回、防災講習 2 回 	<ul style="list-style-type: none"> (BCP 防災設備・備蓄品の説明と炊出し訓練、水害・原子力・地震災害に関する学習会) ・普通救命講習 1 名
	6. 環境美化 保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・次亜塩素酸ナトリウムによる施設内殺菌消毒の実施と加湿器による感染症対策・職員の健康診断実施 (介護職員、厨房職員のみ年 2 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種 (69 名) を実施したが、職員 2 名が罹患
	7. 在宅支援等	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所生活介護では、地域の担当ケアマネジャーとの連携を密にし、在宅ケアプランと短期入所生活介護計画の整合性を取りつつ、利用者援助を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方からの要望に応え日中の時間を少しでも充実していただけるように、レクレーション等の時間を増やした。 ・台風 21 号接近により福祉避難所として新旭より 2 家族 3 名受入。2 名は夕方日帰り、1 家族 1 名は 1 泊される。
	8. 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内採用育成研究会に係長、副主任参加 (月 1 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・規程変更については速やかに職員に説明と提示 個人面接
	9. 人権活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関開催の人権に関する研修に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修 (虐待防止研修含む) 14 回延べ 102 名参加
	10. 実習の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士過程-華頂福祉専門学校 2 名 16 日間の実習 (スリランカ人、フィリピン人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・堅田看護専門学校-4 名 3 日間の実習
	11. 施設整備・備品等更新	<ul style="list-style-type: none"> ・加湿器修繕 (588 千円) ・エレベーターブレーキ取替 (561 千円) ・衛生設備機器修繕等 (492 千円) ・ボイラー修繕・点検 (409 千円) ・厨房関係修繕、備品、エアコン購入 (852 千円) ・誘導灯交換・照明等 (406 千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護用品-リフト購入、リモコン修繕 (677 千円) ・ベッド購入 5 台 (993 千円)・車椅子 6 台 (617 千円) ・車椅子用体重計 (193 千円) ・熱中症対策に洗濯室へスポットエアコン購入 (48 千円) ・感染症対策に加湿器購入 (209 千円) ・非常時用に石油ストーブ (93 千円) ・洗濯機修繕、購入 (180 千円)・食洗機 (60 千円)
利用者サービス	1. 生活支援・個別支援	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の事例検討を通してより利用者の視点にたった多面的な分析ができるように取り組み、少しでも利用者への共感的な理解ができるように職員の意識変化を求めた ・重度化していく利用者に対して、介護職員数が十分とは言えない現状があり支援したくてもできないもどかしさの中で、今できる支援の中で少しでも日常生活動作を維持していただけるようケアプランに位置づけた ・日常の楽しみとしての買い物や外出も創作活動をケア ・今津病院嘱託医との連携の下、急変や体調不良の早期発見に心がけ、健康管理、疾病治療において適切な医療サービスを受けられるように努めた ・看取りを希望される利用者、家族に寄り添い 13 名の終末期ケアを行った ・肺炎球菌ワクチン予防接種-3 名 (希望者) 	<ul style="list-style-type: none"> ケアプランに位置づけ実施した ・ケアカンファレンスの開催 232 件 (内入所前カンファレンス 23 件、家族参加 (後見人含む) 41 件、本人参加 2 件、看取り 24 件、振り返り 2 件) ・褥瘡に関しては、毎月実施している委員会と連携し、早期発見・早期対応に努めた ・作業療法士による週 1 回集団リハビリの実施。延べ 520 名機能評価をと個別リハビリ (11 名) を実施し、機能維持に努めた ・今津病院言語聴覚士による食事姿勢の評価と指導 4 名
	2. 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り期の食事について、最期の時を穏やかに過ごしてもらえよう、一人ひとりに合った食事ケアの方法を多職種で話し合い実践。慌てることなく落ち着いた対応ができるように、食事手順書を作成した。・季節ごとのサイクルメニューにするために、献立マスタの整理と献立・発注作業手順書の作成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断-5~6月に 80 名、入所時健康診断 24 名 ・インフルエンザ予防接種-70 名に実施し、利用者 2 名が罹患されたが感染対策に努め、感染拡大を防ぐことが出来た ・歯科衛生士による口腔ケアを週 2 回実施し、口腔機能の向上に取り組んだ ・リラクゼーションセラピーによる拘縮、浮腫の軽減を週 1 回実施 (20 名)
	3. 食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度の向上を目指し、利用者の要望を聞きながら前調理 (7 回) や行事食 (8 回) に取り組んだ。担当調理師によるメニューの立案、材料選択から実施まで利用者の側での料理は、調理師のやりがいに繋がった。 また、「見て楽しめ、食べておいしい食事の提供」は季節感もあり、利用者からも喜ばれた 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度の向上を目指し、利用者の要望を聞きながら前調理 (7 回) や行事食 (8 回) に取り組んだ。担当調理師によるメニューの立案、材料選択から実施まで利用者の側での料理は、調理師のやりがいに繋がった。 また、「見て楽しめ、食べておいしい食事の提供」は季節感もあり、利用者からも喜ばれた
	4. 主な行事実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調に合せ、花見、紅葉等の個別外出行事をはじめ、ドライブを実施 ・年末餅つき大会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ヶ崎区、清湖園との合同行事として 10 月に地域ふれあい交流会を実施、地域住民との交流を行った
	5. ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・広瀬仏教婦人会 (仏壇清掃 1 回) ・高島仏教婦人会 (作業奉仕 1 回) ・高島仏教会 (法話会第 3 水曜日) ・今津教会 (講話会第 2 土曜日) ・今津民生委員 (車椅子清掃 1 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・かざぐるま、コスモス (喫茶さざなみ 17 回延べ 61 名) ・フラワーアレンジメント教室 (年 5 回希望者のみ参加) ・ビハール高島 (傾聴ボランティア 2 回) ・大正琴・ギター演奏・整容・カラオケ・オカリナ演奏等

【定員】入所 29 名・短期入所 1 名

【拠点職員】常勤 22 人・非常勤 13 人 合計 35 人（常勤換算 28.7 人）

取組事項	実施状況	
1.介護保険	<ul style="list-style-type: none"> 特養の入所稼働率年間延日数 10,051 日平均 94.9%（前 93.7%）であり、入院総日数は 202 日、空白日数 12 日、実人数 5 人であった。3.9 と開所時から年を増すごとに重度化している。 	<ul style="list-style-type: none"> 入所判定会を開催し公正且つ適正な入所判定を行った。特養への入所基準が変わり、要介護 2 の方 3 名を特例申し込み者として、市に報告している。
2.サービスの質 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 研修委員会を通じて、法人内主催の初任者研修（1 名）、実務者研修（1 名）、他各種外部研修会に積極的な派遣をした。 サービスの質の向上、各部署の連携と情報共有、業務改善を行なう目的として、サービス向上委員会を開催した。全ての職種が出席。（月 1 回 計 12 回開催） 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第 1 月曜日 13：30～月例会を開催。法人常務理事からの必要な知識や講和、またこの機会を活用し、内部研修としても充てた。
3.要望等解決	<ul style="list-style-type: none"> 守秘義務違反に関しての要望から継続し周知徹底を行った。 年度末法人内の研修会、委員会に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の面会時には積極的にコミュニケーションを図るようにした。
4.地域交流促進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として区内行事に積極的に参加した。また施設行事（餅つき、納涼祭）にも地域の方々を招くなど交流を深めることができた。また、区の放送設備を活用させていただき、施設行事（餅つき）への参加を呼び掛けた。 2 ヶ月に 1 回の運営推進会議にて意見を聞く場を設けている。運営推進会議実施回数 6 回（詳細は多機能事業報告内） 	<ul style="list-style-type: none"> 例年のマキノ南小学校福祉体験 6 年生の受け入れに加え 5 年生の福祉体験とボランティア活動の受入を行った。 福祉体験受け入れも実施。マキノ中学校から、「仕事人と語ろう」と題し福祉の仕事内容の説明に講師として出向いた。 マキノ西保育園児来所。園児とのふれあい交流会実施した。（歌、得意なこと披露）
5.防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> 年間防災訓練計画に基づき実施、法人主催の救急救命講習に参加した。 高島市北部消防署の立ち入り検査実施。指導に基づき、煙感知器の合計 3 か所増設を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防訓練 1 回（新任職員） 避難訓練（日勤帯、夜間想定）2 回 通報訓練（法人、施設）2 回
6.環境美化・保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> 職員の健康診断（介護職年 2 回）とインフルエンザ予防接種を嘱託医である医療機関にて実施。 入居者が気持ちよく過ごして頂けるよう、ユニット内・居室内の清掃に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人内の 3S 活動で施設内美化に努めた。 外部業者にて年 2 回害虫駆除を実施した。 全居室内の温度・湿度計を活用し適正な温度、湿度管理に努めた。（定時の換気）
7.在宅支援	<ul style="list-style-type: none"> 短期入所の稼働率は平均 89.7%。 短期入所を定期的に利用されていた方が、入院されたり入所されたりでキャンセルが目立ったが、在宅の担当ケアマネジャーとの連絡を密に取りながら、また他事業所にも働きかけ、新規利用者の開拓にも努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の入院時の空床ベッドを上手く活用し、台風など自然災害時における緊急時の受け入れに 대응することができた。 家族の要望に出来る限り応え、また、緊急な受け入れにも柔軟に対応しサービスを提供した。
8.人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 法人内採用育成研究会に参加（毎月 1 回） 	<ul style="list-style-type: none"> 規程変更については速やかに職員に説明と提示
9.人権活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関主催の研修会、法人内研修会に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 月例会やグループ会議等で啓発を行った。
10.実習の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 新旭養護学校から 1 名体験・宿泊実習を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験実習 1 名 6 日間 就業継続
11.施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 3 年に一度の特殊建築物の定期報告を（株）アール小島氏により実施。高島市に報告 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は特に大きな改修などは実施していない。
1.利用者自立支援 ケアプランの作成	<ul style="list-style-type: none"> ケアプランの作成において、定期的なモニタリングやカンファレンスがしっかり行なえなかったが、退院後や状態変化の時には、ご家族への意向の聞き取りもしながら、介護職だけではなく看護師や他職種が連携しケアプラン立案と実行が出来た。しかし、書面には中々落とせなかった。 重度化の中、居室で過ごされる時間が長い入居者に対して、プラン内容には環境の整備を組み込み、居室作りに意識を向けた。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人所属の OT が毎週定期的に来所し、集団リハビリ～個人リハビリ、リラクゼーション等行なって下さった。来所時には、車椅子の座位姿勢や臥床時のポジションなどその都度相談する事が出来た。 多機能を利用されていた方が入所されたが、入所後も継続して多機能利用者で交流出来るように、多機能職員と連携した。
2.健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 施設嘱託医の連携のもと、早期発見、健康管理、治療において適切な医療サービスを受けられるように努めた。今年度は 6 名の方において看取りケアを行った。 感染症の予防に取り組み出退勤時の手洗い・うがいを徹底した。 利用者の重度化に伴い健康診断を外部業者「滋賀県健康づくり財団」による検診車を利用して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 看取り期の方や体調に変化のあった利用者については、アクトを元にご家族と看護師と一緒に対応の方法や方向性を話し合った。 インフルエンザの感染はなかったが、一つのユニットで風邪が蔓延したが、加湿を充実させるなどの対策を講じた結果、拡大させることはなかった。
3.「食」の提供	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好や食事の形態、提供時間や方法など個別に検討し対応している。 ご家族が持参された本人の嗜好品を、調理師の協力のもと、食べやすい状態（トマトをゼリー状等）にし提供する事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニット内でリクエストメニューと称し希望のメニューを取り入れ楽しみの一つとなっている。また利用者にも参加して頂き、お菓子作りを一緒に実施する事が出来た。
4.主な行事実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も継続して、マキノ図書館から移動図書やマキノ道の駅よりパン販売に来て下り、多くの入居者に利用して頂いた。しかしパン販売については、入居者の重度化に伴いパンを食べられる方が少なくなり、利用される方が減ってきている現状である。 新たに、定期的にフラワーアレンジメントを実施。利用者の楽しみの一つになっている。 理美容に関して、馴染みの店がある方は引き続き利用していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年に引き続き納涼祭開催。「流しそめん」も地元の方の協力で行うことができた。 年末のお餅つきはご家族や地域の方々の協力を得て頂いた。 毎年恒例となった鯉の解体ショーを前面で行ない、一部のご家族に見て頂く事が出来とても喜ばれていた。
5.クラブ活動、レクリエーション	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の重度化や職員の人員不足により、中々屋外への外出やレクリエーションを試みる事が出来なかった。屋外への散歩や栗マラソンの応援、少しの時間を使ってのボールや遊具でのレクリエーション、節分やひな祭り・クリスマスには飾り付けや催し会をする事で、四季を感じて頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人内作業療法士によるリハビリ体操を定期的実施した。
6.ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 毎週第 4 金曜日に地元マキノ町のお話ボランティアの方により、歌や紙芝居（本の朗読）を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り、餅つき会にはマキノ赤十字奉仕団の協力を得て開催することができた。

取組事項		実施状況																								
施設運営	1.基本方針	① 在宅の要支援・要介護者が、通いサービスを中心に、ご本人の能力に応じた活動を職員と共に行い、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう支援に努める。 ② 月 1 回以上介護支援専門員がご自宅を訪問し、ご本人、ご家族の要望に沿った形でケアマネジメントを実施する。 ③ その人の出来る可能性のあることに着目し、前向きな気持ちで生活を送ってもらえるように支援する。 ④ 慣れ親しんだ地域で尊厳ある最期を迎えられるように、本人を支え、家族を支えていく。																								
	2.サービス	通い	通いサービスは、9:00~16:00 といった時間に縛られず、ご本人、ご家族の状況に応じて、朝食の時間から、夕食後の時間まで臨機応変に対応を継続して行ってきた。 ① 健康管理 主治医、家族、事業所とともに、連携し、日々の状態変化に対応をする。必要時は受診等の対応も実施。入院時は早期に病院と連携し、退院時スムーズに生活できるように努めた。 ② 入浴 入浴回数を決めず、ご本人の意向や体調等を見ながら実施できるよう努めたが、職員の配置の関係により希望に添えなくなっている。 ③ 日中活動 これまでに重点を置いてきた個別でのかわりに加えて、利用者が選択できる活動を準備し、ニーズに合わせ選択して頂ける様、取り組むことが出来た。特に制作活動は季節感のあるものを作り作成や出来上がりを楽しみにされていた。 ④ 送迎 事故なく安全に実施することができた。																							
		訪問	毎日の定時の訪問に加え、緊急時の連絡が入った際には、要望に沿い対応できるように努めた。早朝や夜間・深夜の訪問にも対応している。 小規模多機能の利点でもある短時間の安否確認などの訪問を入れることで、独居生活を送ることが出来ている方もおられる。看取り介護の際には柔軟な対応を行った。																							
		泊り	定期的な介護休暇も含めた宿泊サービスの実施。また、緊急時に宿泊も実施している。																							
	3.介護計画	① 居宅サービス介護計画書作成人数 15 名 作成回数 25 回 ② サービス担当者会議開催 14 回 ③ 小規模多機能型居宅介護計画作成 15 名 作成回数 50 回																								
	4.職員の資質向上	利用者本位、介護技術、緊急時の対応、接遇研修、チームケア、3S活動、人権、レクレーション、身体拘束、認知症ケア、アセスメント、ストレス研修等に参加。																								
	5.地域交流促進	① 沢区の一員として夏祭り等町内行事に積極的に参加した。 ② 施設の行事にも地域の方々をお誘いし交流を深めることができた。 ③ 月 1 回サロンを実施。区内の方が主担当になり、日程の調整や連絡などを行い毎回 10 名程度の参加があった。 ④ マキノ南小学校の福祉事業で学校に向き話をした。その後福祉体験に 6 年生が来られ活動された。マキノ中学校福祉体験・職場体験にそれぞれ数名来られた。マキノ東こども園からの交流に来てくださった。 ⑤ 毎月 1 回地元のお話ボランティアによる「お話し」を開催した。 ⑥ フリースペース事業を継続。 毎週金曜日 17:30~21:00 現在 小学生 2 名 中学生 2 名 高校生 3 名 計 7 名が利用している。 食事提供・入浴の機会の確保・学習の定着を中心に支援を行っている。																								
7.環境美化保健衛生	① 職員健康診断(介護職員年 2 回)とインフルエンザ予防接種を実施。 ② 感染症(ノロウィルス)・インフルエンザ等予防対策の強化として、手洗い、うがいの励行の周知徹底と温度湿度管理の徹底をした。																									
まとめ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計												
	登録者数	15	15	16	16	16	18	18	18	18	16	15	14													
	通い	221	223	267	281	299	283	254	282	254	261	264	289	3178												
	訪問	116	117	130	128	131	120	130	91	96	165	121	101	1446												
	泊り	41	29	37	55	58	63	47	70	49	49	60	70	628												
	① 小規模多機能の特性を活かして、看取り介護を実施した。多職種と連携をし、家族の揺れる思いに寄り添いながら実施することが出来た。看取り期の葛藤や反省は次回につながるものとなった。 ② 他の事業所で受入が困難である方の受け入れも積極的に行っており、利用される中で落ち着いて生活できる方や介護者の身体的・精神的負担の軽減に貢献できた。 ③ 継続して介護予防教室は実施していく。また、運営推進会議を中心に地域との情報交換・共有の場を大切にしていく。 【登録者 要介護 5:2 名、要介護 4:1 名 要介護 3:1 名、要介護 2:2 名、要介護 1:6 名、要支援 1:2 名】 【平均要介護度 1.9】 【通い 1 日平均利用人数 9.8 人、月平均宿泊日数 89 日、 月平均訪問回数 152 回】																									
運営推進会議	1.構成員	利用者、利用者家族、地域住民代表(区長、民生委員、老人会会長)、介護保険事業に知見を有するもの、行政、さわの風職員で構成。全 14 名																								
	2.頻度	2ヶ月(奇数月)に1回、特養と合同開催 1時間~1時間半程度 場所:さわの風																								
	3.内容	特養、小規模の事業経過報告、意見交換等、研修																								
	4.実施状況	<table border="1"> <tr> <td>第1回</td><td>平成30年5月28日(月)11名</td><td>第4回</td><td>平成30年11月26日(月)11名</td></tr> <tr> <td>第2回</td><td>平成30年7月30日(月)10名</td><td>第5回</td><td>平成31年1月28日(月)10名</td></tr> <tr> <td>第3回</td><td>平成30年10月4日(木)11名</td><td>第6回</td><td>平成31年3月19日(火)10名</td></tr> </table> 運営状況の報告や意見交換など行うことが出来た。開催の案内が遅くなり日程の調整がつかないこともあった。自己評価・地域評価について、運営推進会議後に時間と持ち、地域の方々や運営推進委員の方意見を聴取する事ができた。区と施設とが互いに協力体制を持てるように今後も関係を構築していく必要がある。														第1回	平成30年5月28日(月)11名	第4回	平成30年11月26日(月)11名	第2回	平成30年7月30日(月)10名	第5回	平成31年1月28日(月)10名	第3回	平成30年10月4日(木)11名	第6回
第1回	平成30年5月28日(月)11名	第4回	平成30年11月26日(月)11名																							
第2回	平成30年7月30日(月)10名	第5回	平成31年1月28日(月)10名																							
第3回	平成30年10月4日(木)11名	第6回	平成31年3月19日(火)10名																							

【定員】 朽木小規模特養入所 30 名・短期入所 6 名・DS18 名・HHS(休止)・居宅介護 【定員】 地域密着型特養入所 20 名・短期入所 2 名
 【職員】 常勤 31 人・非常勤 22 人・合計 53 人(常勤換算 41.19 人)

	取組事項	実施状況	
施設 運 営	1.介護保険	<ul style="list-style-type: none"> 施設:小規模特・稼働率 98.7%、地域密着特・稼働率 96.4% (年間延べ 303 日の入院、外泊 3 日、平均稼働率 97.6% で前年より 1.4P 増となる。機能訓練加算。 施設入所者平均介護度:小規模特養 3.8、地域密着型 3.5 平均介護度は、昨年より 0.4 下がり、介護度 3 の方増。 短期入所:稼働率は平均 84.1%で前年度より 8.6P 増、新規利用者の積極的な受け入れにより稼働が上がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 通所介護:稼働率 60%前年より 3P 減。延べ利用者 142 名減。特に下半期の入院と S S 利用増による要因。台風での休業 1 日。新規利用者 10 名。(継続利用に繋がらない) 居宅介護支援事業:月あたり担当実人数平均 44 名、延べ利用者数 526 名(予防 138 名で 40 名減、介護 388 名で前年同)。新規の利用者 17 名。7 月より非常勤ケアマネを 1 名配置。二人体制により質の高いサービスの提供を。
	2.サービスの質 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 施設内研修:リスクマネジメント、感染予防対策、褥瘡予防、排泄ケア、嚥下等の研修会(拡大)を実施した。 施設外研修:ユニットリーダー研修(8日間)1名参加 虐待防止、医療連携、防犯対策、災害時対応、看取り介護技術、ユマニチュード、接遇等各種研修に参加。 近畿老人福祉施設協(奈良大会)、滋老協研究大会にて「地域の中の福祉拠点としての関わり」について研究発表。 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士面接:隔月 6 回、利用者 16 名 作業療法士:11 月より専従。機能訓練実施と加算取得。 言語聴覚士等訪問:年 5 回利用者 10 名咀嚼・嚥下指導。 利用者 3 名の看取りと振り返りカンファレンスの実施。 家族会 2 回(7 月・3 月)。家族 30 名職員 20 名の参加。 運営推進会議の開催(地域密着型特養 6 回・地域密着型通所 2 回) 運営・活動報告、事故発生状況、意見交換等。
	3.要望等解決	<ul style="list-style-type: none"> 1 件の要望を受け付けた。施設入所ご家族 1 件。要望は職員の対応、報告連絡相談に起因するものであった。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議の場を持ち要望者の思いを傾聴し解決に繋げた。 3 月に法人要望等解決委員会・リスク委員会合同開催。
	4.地域貢献等の促進	<ul style="list-style-type: none"> やまゆり会:総会 1 回・会議 2 回・学習会 3 回(参加者延べ 175 名で 61 名減少。高齢化による)(事務局担当) 5 月の山神社社祭礼:利用者 23 名、職員 13 名参加。(市場区、朽木郵便局の支援を受ける。) 施設夏祭り:ご家族、朽木中学生、はーとふる朽木のご利用者、近隣住民の方等の交流で賑わう。 朽木東小学校 4 年生 2 回来所。利用者交流で福祉教育。 	<ul style="list-style-type: none"> 10 月「みんなで楽しむ音楽会」をやまゆりの里会場にて開催。実行委員の方や地域の方、やまゆり会等多数参加。 ふれあいサロン下針畑地区(平良集会所)へ「デイサービス体験」と題し参加。参加者 15 名、朽木支所長他 2 名、保健師、やまゆり職員 4 名含め 22 名で楽しく実施できた。 年末の餅つき:ご家族、地域住民、民生委員、やまゆり会等の参加(38 名)の参加で交流を図った。 シルバークーラス・スボ小川林寺拳法・女性の会場所提供
	5.防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> 年間防災訓練計画を基に日中 1 回、夜間想定避難訓練 2 回、消火訓練 4 回、夜間通報訓練 1 回を実施。 普通救命講習Ⅱに 4 名参加。炊き出し訓練 1 回 	<ul style="list-style-type: none"> 風水害を想定避難訓練は猛暑につき中止し、会議を実施 高島市総合防災訓練に職員が参加(10 月) 災害時要配慮者支援体制検討会(介護サービス事業者協)
	6.環境美化・保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> 二酸化塩素水に変え電解除菌水の活用により殺菌・消臭をおこなっている。感染対策には次亜塩素酸にて対応。 冬期の加湿器の設置と衛生マットの常備で適湿度保持。 光触媒加工作業実施。新棟居室・施設全体共用スペース 	<ul style="list-style-type: none"> ノロウィル、インフルエンザ感染予防対策の強化。罹患者はあったが、拡大には至らず稼働に影響はなかった。 3 S 活動により、施設内の整理整頓に努めた。 施設周辺の庭木剪定、植替え等環境美化に努めた。
	7.在宅支援	<ul style="list-style-type: none"> 短期入所介護:空き状況の情報提供に心がけ新規利用者の積極的な受け入れを実施。稼働率は増加した。今後も各事業所の担当ケアマネージャーとの連携を図り、在宅ケアプランと施設ケアプランの整合性を取りつつ積極的な利用者支援を実施していきたい。 訪問介護:休止継続。地域ニーズに対しては、こころいちばんホームヘルプサービスの提供にて対応。 	<ul style="list-style-type: none"> デイサービス:新規利用者 10 名。台風にて 1 日の休業はあったが、冬期(11 月~3 月)の利用は減。入院や施設入所等が大きく影響した。針畑地域ミニデイサービス実施。 居宅:7 月より二人体制となり、在宅での緊急時や処遇困難なケースにも積極的に迅速に対応できた。担当者会議等積極的に参加し情報の収集と共有を図った。 介護予防・生活総合支援事業にも取り組んだ。
	8.人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成研究会の参加(月 1 回)副主任・リーダー 2 名 	<ul style="list-style-type: none"> 役職者による面接、管理者による全職員対象面接の実施
	9.人権活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市内人権研修 2 回、県内管理者人権研修に 2 回(3 名)の参加。市内高齢者虐待防止研修 5 名参加。 身体拘束ゼロセミナー(3 名)・相談窓口連絡会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の月例会において、人権に関する内容を盛り込み、利用者への尊厳保持と不適切ケアについて全職員へ周知。 ビデオ鑑賞 2 回。毎朝、あいさつ標語の唱和。
	10.実習の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 実習の受け入れはなかった。 	
	11.施設整備・ 備品等更新	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型施設(新棟)の空調設備改修工事実施(10 月から 11 月)GHP から個別エアコンへ更新。(高島市) 新棟非常用電源設備設置(12 月)(高島市) 	<ul style="list-style-type: none"> 施設正面玄関自動ドアセンサー交換(約 39 万) デマンド制御システム設置(78 万)・天井漏雨(12 万) 非常照明・誘導等バッテリー等交換(約 34 万) 椅子昇降式介護浴槽整備点検(約 14 万)他約 80 万修繕
利用 者 サ ー ビ ス	1.利用者自立支援 /ケアプランの作成	<ul style="list-style-type: none"> 施設年間ケアカンファレンス実施回数 106 件(定期、要介護認定更新時・個々の状態変化時)退院前カンファレンス等連携に努めケアプランを作成。 カンファレンスには他職種連携し必要により家族も参加。 	<ul style="list-style-type: none"> OT, ST, 歯科衛生士等専門職と連携しながら検討。継続した支援内容をケアプランに位置づけた。 栄養マネジメントと連携で食や褥創へのプラン取り入れた
	2.健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断の実施(5 月利用者 1 回実施) 11 月インフルエンザ予防接種実施。(利用者・職員) 月 1 回定期診察。歯科訪問診療(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 職員、利用者インフルエンザ罹患者はあったが、部署間連携と早期の対策に努め拡大には至らなかった。 4 月職員健康診断、11 月夜勤職員健康診断実施。
	3.「食」の提供	<ul style="list-style-type: none"> 面前調理(寿司パーティー・焼肉・鍋会)で出来立ての食事をエリアごとに提供。夏祭り・敬老祝賀会・餅つき・新年祝賀会の行事食を提供。利用者、ご家族、職員と楽しくコミュニケーションを図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養ケア・マネジメントで定期的な形態の見直しや多職種協働で個に合った食事の提供に取り組めた。 花見弁当や旬の料理の提供、お菓子作りでは季節感のある楽しい食の提供ができた。非常時対応マニュアル作成。
	4.主な行事実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り、お餅つきは近隣地域へ参加を呼びかけた。 お花見、紅葉ドライブ、DS ミニ運動会、節分、クリスマス会など企画し季節を感じてもらえることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 敬老祝賀会で百寿・米寿の方のお祝いと皆の健康を願った。 新年祝賀会、職員による各種余興を行い盛り上がった。 みんなで楽しむ音楽会(歌・ピアノ・マリンバ演奏)開催。
	5.ボランティアの状況	<ul style="list-style-type: none"> やまゆり会(会員 61 名):行事の支援 2 回 32 名・いっぴくボランティア(13 名)。日赤奉仕団:外清掃 2 回 48 名。つくしの会:喫茶 8 回、お菓子作り 4 回、作業 12 回の延べ約 60 名。6 月愛隣保育園花の日 30 名訪問。 	<ul style="list-style-type: none"> 朽木東小学校 4 年生。朽木中学生:夏祭り。9 月ガールスカウト。5 月映画鑑賞会(上山棟)6 月伊勢太神楽の舞。7 月広瀬仏教婦人部 4 名。民生委員餅つき支援。ご近所山下様:随時草取り施設の花壇定植。今年度も多くの支援を受けた。

	取組事項	実施状況	
施設運営	1. 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 10 名の入退居者があり、新入居者 6 名の内 1 名が介護認定者 定期的に運営懇談会を開催、入居者からの意見を取り入れ施設運営に活かす 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の高齢化と重度化に伴い、生活面を干渉しなければならない状況もある 併設特養の応援が欠かせない。特に夜間は特養の夜勤者、宿直者による対応が必要な状況である
	2. サービスの質 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 職場の活性化。業務の効率化を図るため 3S 活動や目標管理活動に取り組んだ サービスの質の向上を図るため「福祉サービス自己評価基準」に基づき、サービスの点検と評価を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修はケアワーカー 10 回、外部研修は相談員 2 回 内部研修として人権に関する研修会全職員参加 事業所内で感染症 2 回、虐待防止 1 回、人権 1 回、身体拘束 1 回の勉強会を実施 ・ 初任者研修 1 名受講
	3. 要望等解決	<ul style="list-style-type: none"> 要望等受付件数は 1 件 (入居者から入居者に対する苦情-床に唾を吐く、食後の食べかすを手すりに擦る) 	<ul style="list-style-type: none"> 常に入居者のご意見やご要望に耳を傾け、迅速な対応で、満足していただける生活が送れるように努めた
	4. 地域貢献等の促進	<ul style="list-style-type: none"> 併設特養の行事には、積極的に参加して交流を図った 	<ul style="list-style-type: none"> 市ヶ崎区と施設共催の市ヶ崎区地域ふれあい交流会に入居者 7 名が参加
	5. 防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> 年間防災訓練計画に基づき、併設施設と合同の防災訓練を実施 ・ 避難訓練 2 回 (夜間想定 1 回入居者 1 名、日勤帯想定 1 回入居者 9 名) ・ 普通救命講習 1 名 	<ul style="list-style-type: none"> 消火訓練 1 回、夜間通報訓練 1 回、消防設備点検 2 回、防災講習 1 回 (BCP 防災設備、備蓄品の説明と炊出し訓練、水害・原子力・地震災害に対する学習会) に職員が参加
	6. 環境美化 保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> 3S 活動により、整理・整頓・清掃に努め、共用部分の清掃は、清掃チェック表に基づき実施 ・ 浴槽水の水质検査 (レジオネラ菌検査) は年 2 回実施 害虫駆除 (6 月・10 月) を実施 衛生研修会「高島市在宅看取りの現状と病診連携」に参加し、現状と状況の把握をした 併設施設の感染症対策委員会と活動し、感染症の予防に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> 食中毒注意報や腸管出血性大腸菌感染症多発警報の発令期間中は、入居者への手洗いと食品の取り扱いへの注意喚起を実施し、衛生管理に努めた 感染症 (ノロウイルス・インフルエンザ等) の予防対策として運営懇談会で入居者の方へ手洗いとうがいの励行を促した 1 1 月～3 月まで、施設内の手すりやドアノブ等を二酸化塩素水で拭き、ローカの換気や加湿器を使っての温度湿度管理を行う
	7. 在宅支援等	<ul style="list-style-type: none"> 要支援要介護の認定を受け、ホームヘルプサービスやショートステイ、デイサービス等の在宅サービス用の入居者については、各事業所または担当のケアマネジャーとの連携を図りケアハウスでの生活が維持できるように支援した 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅サービスの利用状況は、ホームヘルプサービス 8 名、デイサービス 3 名、ショートステイ 1 名
	8. 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 人事考課規定により職員は自己評価をすることで業務に対する自己点検となり、職務の意欲向上に繋がっている 	<ul style="list-style-type: none"> 規程変更については速やかに職員に提示 個人面接実施
	9. 人権活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 併設特養での研修会に参加し、人権に対する意識向上に努めた 	
	10. 実習の受入れ	なし	
	11. 施設整備・備品等更新	<ul style="list-style-type: none"> じゅらく 1 階玄関自動ドア修理 (291 千円) エアコン修繕費 (89 千円) 	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備更新 (2339 千円)
利用者サービス	1. 生活支援・個別支援	<ul style="list-style-type: none"> 生活は、入居者にとって「生活リハビリ」であることを念頭に遠くからの見守りを基本として入居者の自立した生活が維持できるよう心がけ、定期的に処遇検討会議を開催した 入居者一人ひとり生活上で「援助すること」「援助しないこと」を明確にした処遇方針・個別処遇計画を作成。結果、職員は入居者に対して共通した視点で支援することができた 	<ul style="list-style-type: none"> しかし、個別処遇計画の策定においては入居者ご本人の参加はしておらず、入居者主体とする計画作成が課題である 要支援者や要介護者の計画にあっては、サービス担当者会議に参加し、担当ケアマネジャー作成のケアプランの内容を反映させた 要支援者や要介護者の生活で、新たな問題点等は、担当ケアマネジャーとの連携を図り、問題解決を図った
	2. 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の健康面に異常が見られた場合は併設施設の看護師へ相談や主治医・医療機関への診察を促し、側面的な支援を行った 緊急時の対応に備え、医療機関 (主治医) の把握、常時服用している薬の把握に努めた 転倒及び介護予防のために理学療法士による月 2 回「健康体操」を実施 (23 回実施、平均 6 名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の認知症予防や精神面の安定を図るために臨床心理士からアドバイスをいただく 「頭の健康教室」は継続して実施 入院者は、骨折 2 名、心筋梗塞 1 名、腸閉塞 1 名、心不全 1 名 定期健康診断 12 名実施 インフルエンザ予防接種は 20 名中 20 名実施 インフルエンザ罹患 (入居者 1 名) 蔓延はなし
	3. 食の提供	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好調査や給食会議は例年どおり実施、入居者のご意見を取り入れ、美味しい満足していただける食事提供を行った 入居者の希望で面前調理を実施 (天ぷら、おでんハイキング) を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 食べる楽しみとして、昨年度に引き続き月 1 回の食事会と嗜好食事 (出前) を実施
	4. 主な行事実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 月 2 回開催される特養の行事である喫茶さざなみへの参加を促した 生活支援として買物クラブ (毎週金曜日) 延べ 226 名 映画会 (毎月) 延べ 64 名 お菓子作り 栄養士と連携で年 7 回 延べ 51 名 絵手紙教室 年 6 回延べ 31 名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ケアハウス単独の行事としては、ドライブを兼ねた外食行事を実施 (16 名参加) 日帰り旅行を二日に分け実施 (計 6 名参加) 今津図書館の出張図書として『じゅらく文庫』を継続、入居者に本に触れてもらうことができ、入居者のコミュニケーションツールとなった 音楽療法士による音楽療法 (10 回)
	5. ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 活動支援としてボランティアによる創作活動 (お楽しみレクリエーション) 年 6 回延べ 41 名参加 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ罹患で予定通りに活動ができず中止となった

	取組事項	実施状況	
施設運営	1. 介護給付費	<ul style="list-style-type: none"> 施設入所支援—稼働率94.1%(-2.5P)・退所者4名(死亡4名)(入院、外泊延べ640日)入所2名 平成31年3月31日現在 58名在籍 	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護事業—稼働率92.5%(-2.1P)・短期入所—稼働率71%(+2.5P)
	2. サービスの質 職員の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 施設内研修—①虐待事例研修 生活支援員 施設外研修—管理職、事務職12回、主任・副主任・生活支援員29回、看護師2回、栄養士1回 目標管理活動・3S活動・滋賀県内施設相互評価 委員会活動での支援体制(生活上、改善活動、リスクマネジメント、感染対策、自立支援、研修、 	<ul style="list-style-type: none"> 日中活動、情報ネットワーク) 京滋奈三重 QOL 委員会での意見交換、サビ管連絡会、施設間職員交換研修、滋賀県相互評価委員会 資格取得助成(初任者研修1名、実務者研修1名、社会福祉主事任用資格1名)
	3. 要望等解決	<ul style="list-style-type: none"> 要望(苦情)等受付件数4件(入所利用者3名)職員の対応2件、嗜好に関して1件、制度について1件であった。また、平成27年9月に施設トイレ内で意識不明になられその後死亡された事によります 	<ul style="list-style-type: none"> 裁判の件について、平成30年5月24日に判決があり原告の請求全て棄却、6月19日の控訴期限で原告の上告がなかった为上記判決で確定となる。
	4. 地域貢献等の促進	<ul style="list-style-type: none"> 市ヶ崎区民と(第64回ふれあい交流会)の開催 地域と合同の防災訓練の実施 フリースペースの活用の人材派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽療法士の派遣(4事業所延べ38回550名)、昭和のうたピアノ弾き語りコンサート(藤樹の里文芸会館9回850名)、地域高齢者サロン(今津町内1か所20名)
	5. 防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> 年間防災訓練計画に基づき避難訓練4回(内1回は消防署立会、内2回夜間想定)、消火訓練3回(消火器、消火栓、散水栓)、通報訓練1回、消防設備法 	<ul style="list-style-type: none"> 定点検2回、防災講習2回(地域住民と合同で防災倉庫の説明及び吹き出訓練、水害・地震災害に対する学習会)、普通救命講習3回の実施。
	6. 環境美化 保健衛生	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策として職員・業者への手指消毒器の設置、手洗い、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒を徹底した。また、嗽や流行期マスク着用義務付け、二 	<ul style="list-style-type: none"> 酸化塩素水による除菌と二酸化塩素加湿器設置した。 3S活動による施設内の環境整備に努めた。(継続中)
	7. 在宅支援等	<ul style="list-style-type: none"> 在宅生活の継続、介護者の負担軽減等の支援として在宅生活支援登録者(重複)49名(生活介護16名、日中一時3名、短期入所20名、重症心身10名(内43名高島市内在住、児童2名は定期利用) 	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法士による高島市内の支援センターからのリハビリ相談(14回5名)に応じた。清風荘、やまゆりの里、さわの風へ派遣—車椅子適合ポジショニング、運動機能評価、相談を延べ1,860回実人員111名実施
	8. 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成研究会の参加(月1回)副主任1名 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者による対象職員面接の実施
	9. 人権活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 法人全体会議や現任研修会、月例ミーティングで啓 	<ul style="list-style-type: none"> 発を行った。随時、外部研修に参加
	10. 実習の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> 京都女子大学 保育科(1校1名 10日間) 	<ul style="list-style-type: none"> 佛教大学 作業療法士学科 (1校1名3週間)
	11. 施設整備・備品等更新	<ul style="list-style-type: none"> 建物付属設備更新(1F浴室ケムコリフトモーター850千円、玄関自動ドアエンジン/切換スイッチ551千円) 器具及び備品(業務用ディスボーター1,209千円、パッド固定リフト3台1,233千円、床走行リフト 	<ul style="list-style-type: none"> 1台352千円、パッドリフト3台585千円、スリング各種418千円) ・修繕(居室エアコン156千円、業務用洗濯機120千円、2F浴室リフト62千円)
利用者サービス	1. 生活支援・個別支援	<ul style="list-style-type: none"> 利用者支援の充実に向け「1階・2階・3階」のフロア完結型の支援体制の実施、入所者と分けて1F朝日ユニット(通所事業)としての支援体制を実施して3年目になるが、支援員の不足から夜間帯や入浴介助等各フロアでの完結が出来なかった。 個別支援計画については、実現可能な内容を中心に策定し、身体拘束についても同時に同意を得る形に変更した。 利用者自治会への事務局として支援(役員会、喫茶座談会、総会) 	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法士による個別訓練、車椅子の保守点検・改良や修理、自助具の作成、ナースコールやPC・INの利用練習相談や生活・心身等の関わり(施設入所利用者61名、通所利用者7名、SS6名)延べ2,738名実施した。車椅子新規作製(手動3台・電動1台)作成中が2台 感覚統合訓練としてスヌーズレンの実施—8名延95回実施 作業訓練(手工芸等)—12名延べ1,208名(減少傾向) 成年後見制度—利用8名(家族、法律事務所、NPOあさがお、司法書士)
	2. 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り入院に至らないよう日々の健康管理をおこなう。・定期健康診断(6月、12月)実施 入院者延べ32名(600日)・インフルエンザ予防接種 56名、肺炎球菌ワクチン接種 2名 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症(インフルエンザ、ノロウイルス)の疑わしき症状の場合マニュアルに沿った対応を行い結果、感染症の罹患はなかった。 職員定期健康診断の実施(6月全職員、12月夜勤職員)
	3. 食の提供	<ul style="list-style-type: none"> 嗜好調査を年2回実施、自治会と給食会議により意見聴取と改善提案等を協議 ・利用者からの意見要望についても改善を実施 ・行事食12回 	<ul style="list-style-type: none"> 喫茶ブルーレイク(6回延べ246名)・嗜好食事(12回472人)の実施とリクエストメニューを聞き個人の嗜好に繋げた。お菓子作りを毎月実施(12回延べ173名)
	4. 主な行事実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 家族の集いに併せて職員全体会を実施 自治会との連携により行事の企画、実施 花見食事会、花見ドライブ、紅葉ドライブ、文化祭(家族)、クリスマス会(礼拝)、新年食事会、節分祭の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌ほのぼのタイムズ年3回、朝日通信4回の発行・日中余暇活動の実施 一泊旅行、日帰り旅行については、支援員の付添は出来なかった。
	5. ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 日赤奉仕団・今津教会車椅子ダンス12回 日中活動—麻雀、将棋、オセロ、ネイルケア、 	<ul style="list-style-type: none"> カラオケ、創作活動、アロマセラピー、喫茶ブルーレイク、お菓子作り その他に清湖園職員OBの支援

取組事項		
1.主な取組み	<p>ほろん拠点での主な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ころいちはんホームヘルプサービス 「利用者への精神的虐待」の認定を受けた件について、改善計画書を作成。計画に沿い、研修・学習会を実施し、虐待防止マニュアル・チェックシートを作成し、ヘルパー会議の定例化を図り、再発防止に努めた。 ・ 働き・暮らし応援センター 在宅障がい者の要望に応え、たかしまわたぼうしコンサート2018の事務局を担い、約450人を動員した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労定着支援事業 改正障害者総合支援法（H31.4）に基づき、障がいのある方の就労や就労に伴って生じている生活面での課題を解決し、長く働き続ける様にサポートする就労定着支援事業に職員2名を配置し、11月から活動を開始した。 ・ 法人全体の取り組みとして、3S活動を積極的に行い、「情報収集・仕事のやりやすさ・迅速性」のため整理整頓に注力した。 ・ 建物の保守・点検を行い、夢工房の台風被害による屋根の修復。夢企画にブラインドの増設を行った。
2.障がい者社会参加促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度も必要に応じて、専門職(作業療法士・音楽療法士)の派遣を行った。 ・ パソコンエンジニアを中心に月2回 旧ほろんボランティアルームを利用し、土曜パソコンを開催した。 また、市内の福祉施設(藤美寮・アンフィニ)や公民館でパソコン教室を開催した。 ・ リサイクル事業では、関係機関(相談支援センター、社協、市役所)と連携し、福祉用具・福祉機器を必要な人に斡旋した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ・芸術活動では、諸行事を開催し、障がい当事者の社会参加を促し、当事者団体とボランティアとの交流を行った。 ・ 視覚障がい者の情報提供のため「広報たかしま」 「議会だより」の点字・声の広報を定期的に発行した。 ・ 音訳ボランティア養成講座については、視覚障害当事者が講師となり実際に即した講座開催を行った。 ・ 手話奉仕員養成事業(基礎編)では、正規のカリキュラムを基に開催し、4名の方に修了証を授与した。
3.働き・暮らし応援センター 就業・生活支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は370名の登録者であった。〔内訳：身体56名 知的158名・精神113名・その他43名〕対象の方に対しての相談は総数8,642件となった。支援件数全体でみると、昨年の2割増となっている。 ・ 就労移行やB型との連携で実習、就労となるケースが増え、年間の就職者数は52人、実習42件の実績を収めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活面での課題のある方も多く、家庭訪問を実施した回数（44回）として、昨年の2倍程度となった。 ・ わたぼうしコンサートの事務局を担い、12/2に開催することができた。 ・ 福祉の受け手から担い手へ推進検討会に参画する中で、福祉分野での事業所見学会などを実施することができ、介護職員を目指される方の後押しをすることができた。
4.ころいちはん計画相談支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度：契約者数121名（計画73件、モニタリング257件）計画及びモニタリング件数の増加に伴い増収となった。 ・ 相談支援研修会や各研修に参加し、アセスメント力の向上を目指した。 ・ 近年、相談内容が一般相談など他種多様になり、家族、関係機関との連携を密に取りながら支援するケースが多く 	<ul style="list-style-type: none"> 見られた。その為、相談員が1人の利用者にかかる時間が以前に比べ増加し、個々の計画書やモニタリングの充実まで至らなかった。 ・ 今後も、居宅介護支援専門員と相談支援専門員が互いに自己研鑽し利用者寄り添った相談ができるよう連携を取って支援の継続を行っていく。
5.ころいちはん居宅介護支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年度当初利用者数62名（要介護43名、要支援19名）でスタートし、年間の依頼数は増加傾向であるがケアマネ体制上お断りするケースも10件程あった。 社協とケアプランさくらのケアマネ退職につき利用者のケアマネを当事業所でお受けした。 ・ 利用者の予後予測、家族関係の変化による危機管理、介入のタイミングについて下半期の課題となった。 ・ 8月には74件の担当が常勤で対応できず朽木の3件の利用者にはケアマネ変更をお願いして了承頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ターミナル期の在宅看取り、多職種連携、地域ケア会議、制度改正での支援のあり方など各種研修や会議に参加した。 その中で高島市の高齢化の問題とケアマネ不足で利用者が依頼してもケアマネが見つからず自費負担で介護保険サービスを受けなければならないケースの相談があること等行政との会議で市内事業所の努力や情報共有での紹介などを行った。 ・ あいあいデイサービスの営業休止に伴い利用者家族に新しいデイサービスの情報提供、見学、サービス担当者会議、デイサービスへなじみ慣れて頂くための支援を継続している。
6.ころいちはんホームヘルプサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朽木ヘルプステーションの休止により、在宅サービスが受けにくくなった朽木地域と大津市葛川地域へのサービスを、ころいちはんが担うことにより、地域住民の安心に繋げることができた。年度途中でヘルパーの欠員により利用人数を制限せざるを得なくなったが、登録ヘルパーとの連携を強化し利用人数を安定させた。 ・ 虐待に関する改善計画に沿い、研修や会議を実施し虐待防止への意識を高めている。ヘルパー会議も充実させ、意見交換やサービスの統一に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者から訪問時のマナーに関する苦情があったことから、「利用者満足度アンケート」を実施し、ヘルパー全員の意識改革を図った。 ・ 総合事業の単価改正にて生活援助の単価が下がり、事業を取りやめる事業所のある中、受け入れを継続して介護予防・生活支援の役割を果たせるよう努めた。 ・ 新規利用の依頼については、希望時間に沿えないため受け入れられないケースもあった。今後、勤務時間の見直しや登録ヘルパーの増員空き時間の把握に努め、柔軟に受け入れができる体制作りが必要である。

事業運営	取組事項	実施状況																																																				
	総評	新規利用者4名の内2名の方は、現代の社会問題である引きこもりや生活困窮者であり、また、精神障害も持ち合わせておられ、多問題ケースが増えてきている。職員体制の関係で、昨年度より開所日数が6日減となったが、利用者総数は前年度を200人上回る結果となった。月額平均工賃は、15,908円で昨年度より191円増となった。支援の方では、毎朝の健康観察を実施し、利用者の障害特性や健康状態（精神状態）を把握したうえで作業提供を行った。利用者の状況についてのアセスメントの強化、個別支援計画会議を設け全職員が共有し支援にあたった。切れ目のない作業提供に努め、総売り上げも54,000円増につながったが、作業能力の高い利用者が高齢であり、今後、生産力の低下が懸念され課題である。																																																				
	運営方針	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の誰もが生まれ育った地域で安心して豊かに暮らせる事を目指し、湖西の特性を活かし地域社会の期待に応える。 利用者の意思と人格を尊重し、社会参加、自己実現を確立するため、一人ひとりのニーズや、一人ひとりに適した作業環境や作業方法で質の高い支援に努める。 																																																				
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 企業下請け工賃作業 （有限会社奥野電器、京都シール株式会社、株式会社美濃与食品等） シフォンケーキ・クッキー等販売（取次ぎ業務、発注先はドリーム） DTP（葉書・名刺・各種広報誌） 季節の果物・野菜等の仕入れ販売（むねかた農園） 福祉の店の運営（法人本部、ほろん置き菓子等） 市内他事業所との提携（アイコラボレーション高島） オリジナル自主製品独占製造販売（パーチメントクラフト） 																																																				
営	利用者の状況（H31年3月31日現在：定員20名・契約利用者23名・年度中途契約4名・年度中途解約2名） 年間開所日：249日 利用者総数：4423人 年間利用率：85.2% 1日平均：17.8人																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">障がい種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>知的</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>精神</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>	障がい種別		身体	8人	知的	12人	精神	3人	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">契約年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年未満</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>2年未満</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>3年未満</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>3年以上</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table>	契約年数		1年未満	4人	2年未満	1人	3年未満	2人	3年以上	16人	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年代別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10代</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>20代</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>70代</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	年代別		10代	0人	20代	4人	30代	3人	40代	5人	50代	6人	60代	4人	70代	1人	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">地域別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マキノ</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>今津</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>新旭</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>安曇川</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>朽木</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>高島</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>長浜市</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	地域別		マキノ	1人	今津	8人	新旭	4人	安曇川	5人	朽木	2人	高島	2人	長浜市	1人
障がい種別																																																						
身体	8人																																																					
知的	12人																																																					
精神	3人																																																					
契約年数																																																						
1年未満	4人																																																					
2年未満	1人																																																					
3年未満	2人																																																					
3年以上	16人																																																					
年代別																																																						
10代	0人																																																					
20代	4人																																																					
30代	3人																																																					
40代	5人																																																					
50代	6人																																																					
60代	4人																																																					
70代	1人																																																					
地域別																																																						
マキノ	1人																																																					
今津	8人																																																					
新旭	4人																																																					
安曇川	5人																																																					
朽木	2人																																																					
高島	2人																																																					
長浜市	1人																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">男女比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>14名</td> </tr> </tbody> </table>	男女比率		男性	9名	女性	14名																																															
男女比率																																																						
男性	9名																																																					
女性	14名																																																					

【利用者工賃】

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
売上	763,574	352,283	308,136	430,751	550,689	744,873	418,455	511,434	592,844	494,687	470,263	511,760	6,149,749
経費	346,247	123,668	55,881	100,133	256,885	470,345	135,607	165,043	222,617	106,471	108,551	66,793	2,158,241
工賃	417,327	228,615	252,255	330,618	293,804	274,528	282,848	346,391	370,227	388,216	361,712	444,967	3,991,508
平均工賃	20,866	11,431	13,277	16,531	14,690	13,073	13,469	16,495	17,630	17,646	16,441	19,346	15,908

事業運営	取組事項	実施状況			
	総評	<p>今までは「就労に必要な力が身に付くようビジネスマナーや職場のルール、コミュニケーション力の向上を目指しての訓練内容が主であったが、今年度は「企業が欲しい人材」という点に改めて着目し「より実践的な訓練を通して就労に役立つスキルを身に付ける」という目標を掲げ実践訓練を主に進めてきた。4月から9月にかけて5名の方が一般就労へ移行されるなど成果は表れている。過去最高の就労者実績を上げることができたことは嬉しいことであるが、新たな利用者を確保できない状態が続き運営は大変厳しくもあった。</p> <p>退所者と入所者のバランスを安定的に保つことが就労移行支援事業の課題であると実感している。今後は関係機関との連携をとりながら、登録利用者を増やしていくことを目指します。そのためには今以上に受け入れ態勢の構築を強化し、更なる訓練内容の充実、職員の知識向上に向けての勉強会や研修へも積極的に参加していきたいと考えている。</p>			
	運営方針	<p>利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他便宜を適切かつ効果的に行うものとする。</p>			
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●学習訓練（生活マナーや職場のルールの学習で個々のスキルを尊重しながら就職に向けたノウハウを学ぶ訓練。） ●社会訓練（新聞を読み、様々な出来事や情報を知り理解することで、考える力や一般常識を身につけるための訓練。） ●実習訓練（パソコン、コピー機、FAX、ラベラー等事務機器の操作方法や、コミュニケーション力強化、面接対策、生活適応力をつける訓練、個々の苦手な事に対しての実地訓練。） ●体力づくり（就労してから毎日を乗り切れる体力をつくる為に個々にあったトレーニングを取り込み 効果の上がる運動訓練。） ●作業訓練（企業から受注した仕事を通して、内容を(理解力)、覚えて(習得力)、早く正しく出来る(正確性)、などの能力を引き出すための訓練。） ●SST（どのような言動が望ましいかななどの情報を与え、行動リハーサルやロールプレイングなどを通し実際に体験する訓練。） ●施設外作業（企業との契約のもと一般作業現場に出て、必要な知識や技術を習得し、社会性を身に付けるための訓練。） ●企業実習（企業にて色々な仕事を体験し自分にあった仕事をみつける為の実習訓練） 			
利用者数 ※平成31年3月31日現在		年代別		地域別	
利用者：定員20名（契約利用者8名）		20代	3	今津	3
知的障害者：2名 発達障害者：1名		30代	4	新旭	3
精神障害者：4名 身体障害者：1名		40代	1	安曇川	2

利用者状況（定員20名）

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
開所日	23	23	23	23	23	23	138
契約利用者	9	7	7	6	6	6	41
利用日数	178	155	146	131	130	101	841
平均（人/日）	7.7	6.7	6.3	5.7	5.7	4.4	6.1
利用率（%）	38.7	33.7	31.7	28.5	28.3	22.0	30.5

利用者状況（定員20名）

種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日	23	23	23	23	23	23	138
契約利用者	5	6	6	6	7	8	38
利用日数	108	122	124	118	144	142	758
平均（人/日）	4.7	5.3	5.4	5.1	6.3	6.2	5.5
利用率（%）	23.5	26.5	27.0	25.6	31.3	30.8	27.5

事業運営	取組事項	実施状況				
	総評	<p>障害者雇用が進む中、企業の理解が進み就業時の合理的配慮が受けやすくなった一方、生活リズムや体調管理などの生活面での行き届かない現状や職場でのトラブル等で、不安や困りごとが膨らみしんどさを感じる。就職はしたものの就職後の生活に適應することが出来ず安定して働くことが出来ないといった課題も見られるようになっている。</p> <p>このような課題がある中、障害者雇用を取り巻く環境の変化に対応し、長く働き続けることが出来るようにとの思いでH30.11月より「就労定着支援事業」を立ち上げ活動をしている。</p> <p>本人の能力やスキルと企業が求める働く上での必要な能力との間に差があるほど、課題も多くサポートが必要となる。各々の特性に応じた多様な働き方の実現や、職場定着につなげられるよう、利用者と企業との間に立ち調整役として活動している。しかし双方の立場での考えや思いの相違が見られる等対応の難しさを実感している。障害のある人が、福祉的な就労、保護的な雇用ではなく「労働者」として働くことを目指せるように、また住み慣れた身近な地域で就労し、共生社会の一員としての自覚と誇りを持って生活していくための支援をしていく役割を果たしているようしっかりとサポートしていきたいと考えている。</p>				
	運営方針	<p>1、 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者に対して就労に向けた支援として、通常の事業所での就労の継続を図るために必要な通常の事業所の事業主、障害福祉サービス事業者等、医療機関その他との連絡調整その他の支援を適切かつ効果的に行う。</p> <p>2、 利用者の意思及び人格を尊重して常に利用者の立場に立ったサービスの提供を行う。</p>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業主、障害福祉サービス事業者、医療機関等との連絡調整及び連携 ●職場への定着のために必要な相談、指導及び助言 ●日常生活又は社会生活を営む上での問題に関する相談、指導及び助言 ●サービス利用中に離職する者への支援 					
契約利用者：5名		職員体制				
年代別	性別	業 種				
20代	男性	製造業				
30代	男性	学校業務嘱託員				
30代	女性	製造業				
40代	男性	製造業				
50代	男性	古紙リサイクル業				
		<table border="1"> <tr> <td>管理者・サービス管理責任者</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>就労支援員</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> </table>	管理者・サービス管理責任者	1名	就労支援員	1名
管理者・サービス管理責任者	1名					
就労支援員	1名					
※平成31年3月31日現在						